

平成 27 年 7 月 30 日

東京ガス株式会社

2016 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明会

主な Q & A

Q 1 : 通期の利益見通しを当初計画どおりとしているが、その考え方は？

A 1 : 第 1 四半期においては、主に高気温影響によりガス販売量が当初計画を下回った。これによる粗利減を、第 2 四半期の油価想定変更による期ずれの改善が補い、ガス事業についてはほぼ当初計画どおりの見通しとしたもの。他事業についても、ほぼ当初計画通りの見通しとしている。

Q 2 : 来春の電力小売全面自由化に向けて、既に費用を投入しているのか？

A 2 : 第 1 四半期においては、大きな費用投入はしていない。制度等がはっきりしてくる秋以降に、本格的に費用投入していく予定である。

Q 3 : 同日発表した、東北電力と設立する電力小売事業会社の位置付けは？

A 3 : 主に北関東エリアで高圧・特別高圧、高負荷のお客さまへ電気を販売していく。エネットは高圧・低負荷、東京ガス本体は現状の卸売に加えて家庭用等低圧のお客さまへの電力小売を考えている。

以 上